

しまだ 議会だより

No.37

11月定例会

2013(平成25)年2月15日発行

発行 島田市議会

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ (0547) 36-7204

FAX (0547) 37-2212



目次

- P 2 一般質問
- P 9 議案質疑&常任委員会の報告
- P 12 討論
- P 13 採決結果一覧ほか
- P 14 定例会の概要&議決結果一覧
- P 15 議会報告会の開催報告
- P 16 常任委員会の視察報告ほか

若者の誘客に
向けた野守の池
イルミネーション

一般質問 13人の議員が市政を問う

P 2 仲田 裕子 議員

- 茶園防霜ファン更新事業に期待する
- 市の花・木・鳥の制定をすべし

P 3 富澤 保宏 議員

- 速やかな防災・減災体制の確保を
- 市営田代霊園の拡張工事について

P 3 星野 哲也 議員

- 複式学級校の将来は！！
- A E Dの設置場所と使用時間帯は

P 4 八木 伸雄 議員

- 台風の被害対策と今後の対応は？
- 介護と医療体制の確立を

P 4 清水 唯史 議員

- 市政に関する要望書の対応は

P 5 原 木 忍 議員

- 最終処分場契約はどうなっているか
- セクハラ・パワハラ対策は万全か

P 5 佐野 義晴 議員

- 病院建設と大学誘致。現状と今後？

P 6 藤本 善男 議員

- 地域防災計画はどのように変わる？
- 市は積極的な雇用対策を

P 6 紅林 貢 議員

- 防災、主に＜原子力災害＞を考える

P 7 大石 節雄 議員

- 社会変化に対応した後期基本計画は

P 7 橋本 清 議員

- ひとり暮らし高齢者に支援を！

P 8 松本 敏 議員

- 利用しやすい安心の介護保険制度に
- 多目的産業展示施設は白紙撤回を

P 8 桜井 洋子 議員

- 浜岡原発は永久停止・廃炉にすべき
- 新病院のまちなか移転の是非を問え

質問は、一定時間内に一件ずつ行う「一問一答」方式と複数の質問を一括して行う「包括」方式（質問回数は3回まで）があり、質問する議員が選択します。

問 国直轄の農業農村整備事業の中に、防霜ファンの更新が位置付けられたことは評価するが、予算概算要求の文中に茶園の防霜ファン更新の文言がないが大丈夫か。

答 関係省庁へ、農用地の保全の項目の中に、防霜ファン更新事業および新設を含んだ事業で展開できると確認している。

問 この事業のスケジュールはどうなっているか。

答 平成25年1月に国へ要望を提出、新年度に内

茶園防霜ファン更新事業に期待する

なかだゆうこ 議員 (一問一答)



茶園に設置してある防霜ファン

問 示・決定を受け事業に着手し、平成26年2月末の完成を見込んでいます。事業費13億円の根拠は何か。

答 13億円を再度検討した結果、防霜ファンの実勢価格を大体60%程度の金額で発注できると精査し、13億円から7億1千万円程度に変更した。

問 財源について「一般会計からの支出はない」と書かれているが、お茶のまちとして、島田市単独の支援はゼロでいいのか。

答 元金に対する補助はしないが、資金を借りられる場合、無利子で借りられる方策を考えている。

問 市の花・木・鳥の制定をすべし

問 島田市の市章は、平成17年7月14日告示第173号により制定された。あれ以降いまだに、市の花・木・鳥が制定されていないが考えはどうか。

答 島田市の花・木・鳥については、これまでも市制施行の節目における記念事業などに制定してきた経緯があり、新市としては新たに、合併10周年記念などの機会をとらえて制定するなど、今後、検討する考えである。

速やかな防災・減災体制の確保を



とみざわやすひろ
富澤保宏 議員
(一問一答)

問 昨年度から24年6月まで行われた「防災対策に関する特別委員会」より11項目の提言がなされた。現在までの取り組みについて伺う。

答 要援護者台帳をより一層活用するため、台帳登録者のうち自力での避難が困難で、かつ、家族の支援を受けられない方を対象に、避難時の個別支援計画を作成している。避難所等の位置情報システムの開発や導入については、今後その有効性について研究していく。本年度から県の指定と同じ資格を持てる防災リーダーの育成を目的とした講座を開講していきたい。

来年度からプラザおおるり中会議室を本部機能を有する常設の災害対策室として設置する。避難所運営会議の中で女性の参加する体制を整える。アマチュア無線の有効性を活かして情報の収集に取り組む。



常設の災害対策本部となるプラザおおるり3階中会議室

市営田代霊園の拡張工事について

問 霊園の拡張工事予定を早めよ。

答 24年4月に開園した霊園は、307区画のうち302区画が販売され残り5区画となっている。今後も霊園の需要が高まることを考え、150区画の整備を、当面平成25年度設計、平成26年度建設工事の予定を組んだがもっと早めるようにする。

複式学級校の将来は!!

つやほしの
星野哲也 議員
(一問一答)



問 合併前の旧島田市、旧金谷町、旧川根町の人口は平成7年がピークで10万3400人だった。平成42年には8万8千人と予想される。特に年少者率は10・1%となり、少子化が急速に進むことが大変気掛かりである。そこで、複式学級と統合について質問をした。

答 湯日小35人、伊久美小33人が複式学級を実施している。

複式学級は2学年を担当が受け持つ。生徒は1時間の半分を担当から指導を受け、半分が自習時間となる。音楽・体育・図工の教科は同時指導の授業になる。



湯日小学校の複式授業の風景

問 伊豆市の湯ヶ島小学校は90人もの子どもが在籍しているが、平成25年度から統合される。市では統合の計画はあるのか。

答 複式学級は増えていくが、今のところ、統合は考えていない。

AEDの設置場所と使用時間帯は

問 市内には100カ所以上にAEDが設置されているが、24時間使用できる施設はあるのか。

答 市内の8施設は使用できるが、残りのうち49施設は、施錠してある時間帯に扉のガラスを割って使用していただく。

問 市民にはAEDの設置をどのように案内しているのか。また、十二分に周知は行き届いているのか。

答 市のホームページに設置施設・使用時間を掲載している。市役所は正面玄関に表示してあるが、そのほかは設置・標識・設置箇所を明確にする必要があると考えている。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

台風の被害対策と 今後の対応は？



やぎのぶお
八木伸雄 議員
(二問一答)

問 23年の台風の被害箇所は全て復旧しているか。
答 林道において4カ所の復旧が遅れている。

問 路線名と被害状況は。
答 林道明ヶ島線の路肩が決壊しているが幅員は、3・1メートル確保されている。

問 その箇所は生活道路だ。通学やお年寄りの介護・通院や通勤に利用している。なぜ、すぐ工事をしなかったのか。
答 優先順位による。
問 大雨が降れば決壊する可能性があるか。



台風による被害箇所

答 が高く、住民が孤立する。林道修繕の予算は前年度とほぼ同額であり、予算を増額すべきではなかったのか。
答 安全な養生をしながら来年度の林道改良工事に対応したい。

問 大井川は河床低下や土砂の堆積が顕著である。大代川・伊久美川・相賀谷川・栃山川・東光寺谷川などの土砂の堆積もある。集中豪雨の可能性は大地震より高い。十分な監視体制と管理を求めたい。
答 河川の断面確保は、十分に監視し、安全な管理と整備を国・県に要望していく。

介護と医療体制の 確立を

問 要介護の高齢者が増加している。特別養護老人ホームを建設すべきだ。
答 介護サービスの内容に応じた施設がある。今後のニーズと法人の動向を把握していきたい。

問 市民病院は、耐震補強やリニューアルで対応できないのか。
答 本館は耐震性が劣る。給排水設備も著しく老朽化している。

問 数年前に10億円近い予算でリニューアルした。新築を考えていたのか。
答 まず、患者の療養改善を考慮して行った。



しみずただし
清水唯史 議員
(一問一答)

市政に関する 要望書の対応は

島田商工会議所ならびに島田市商工会より提出された「平成25年度市政に関する要望書」に対する市の取り組みについて質問した。

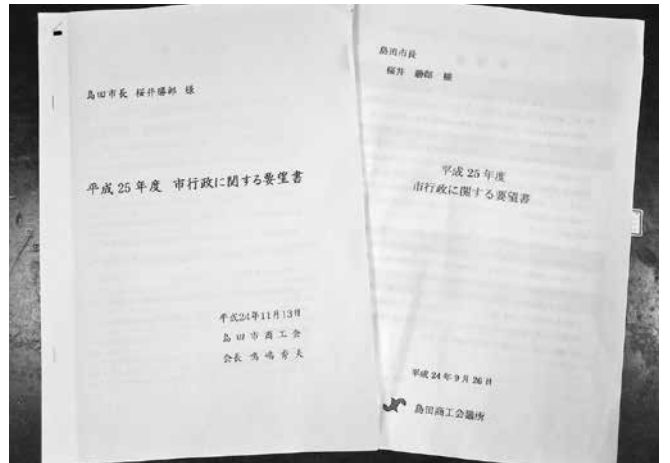
を積極的に実施していく。

問 小規模事業者経営改善資金の利子補給導入に取り組み考えはあるか。
答 他市の状況を勘案しながら早期の導入を検討しているところである。

問 東海道新幹線「富士山静岡空港駅」設置推進の取り組みは。
答 県が計画する空港地下駅案に対し、島田市側への設置を設置期成同盟会など地元とともに、各場面で要望していく。

問 まちづくりや地域コミュニティ形成を促進させる条例制定はするか。
答 制定は考えていないが、地域住民、事業者等が協調協働することが重要と考え、県が制定を予定する条例に注目する。

問 島田金谷インター付近の整備計画はあるか。
答 県が計画する国道473号の4車線化と合わせ、五和駅交差点などの整備事業に取り組んでいる。



島田商工会議所と島田市商工会から提出された要望書

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。



封鎖された初倉谷口地区の最終処分場入口

最終処分場契約は

どうなっているか



はらき
原 木 忍 議員
(一問一答)

問 土地賃貸借契約の現状はどうか。
答 反対する地権者は賃貸借契約の更新をしていないので、契約は切れていると主張しているが、市としては、基本的には

継続していると考えている。反対する地権者と協議を重ねているが、理解が得られていない。
問 今の契約で、法的に問題はないか。
答 専門の弁護士と協議しながら対応している。

問 暫定搬入路を地元
の抗議にも
かわからず、
説明もなく、
強行に設置
した理由は
何か。
答 市道を使
うため、説
明しなかつ
た。
問 地元町
内会では、
お茶の風評

答 風評被害が起きることはないと考えている。
問 最終処分場の一定の地域での風評はないか。
答 取引の値段が下がったということは聞いていますが、そこだけという話ではないと思う。
セクハラ・パワハラ対策は万全か
問 セクハラ・パワハラがあつてはならない旨の方針を明確化し、職員に周知、啓発しているか。
答 基本方針を策定し、臨時・嘱託職員を含めて周知を図っている。また、年次計画を立て、職員研修を実施し、所属長にハラスメントに関する通知をするなど、防止に努めている。
問 セクハラなどがあつても相談しにくいなど、泣き寝入りのケースがあるのではと推測するが、どうか。
答 防止が第一と考えている。人権上の問題なので、人権回復を第一に考えて対応していく。

病院建設と大学誘致。現状と今後？

よしはる
佐野義晴 議員
(一問一答)



平成22年秋、病院のまちなか移転と大学誘致の市長発表があつた。これは市の年間予算の半分かそれ以上だが、そのあと具体的説明が何もない。
問 大学誘致は、平成24年3月までに大学と覚書を交わすと説明があつたその有無を伺う。
答 締結に至っていない。
問 大学名すら公表されていない。理由は何か。
答 大学側から公表を止められている。

これまでの市の説明および情報提供の進め方に、役所内での機能が健全かつ適正に機能していたか。
答 病院移転や大学誘致は今後問題で、説明がないというのは筋違いだ。
問 病院のまちなか移転に医師および役所の職員に理解が得られているか。
答 100%、職員の自発的な考え方だ。
問 県内35市町の中で島田市のみ副市長がいない。このことが、今回の計画に与える影響はないか。
答 置かないのではなく、相応しい人がいないだけ。
問 病院のまちなか移転が医師確保につながるというが、その担保を伺う。
答 建設まで時間がある。それまでに対応する。
問 二事業に関する財源確保・総事業規模・将来負担の上限値設定等、いつ発表できるか伺う。
答 規模は、まだ決まっていない。いつ発表できるか分からない。
問 二事業は将来負担とリスクを伴うはず。それが分かる行政コスト計算書等の提出はできないか。

これまでの市の説明および情報提供の進め方に、役所内での機能が健全かつ適正に機能していたか。
答 病院移転や大学誘致は今後問題で、説明がないというのは筋違いだ。
問 病院のまちなか移転に医師および役所の職員に理解が得られているか。
答 100%、職員の自発的な考え方だ。
問 県内35市町の中で島田市のみ副市長がいない。このことが、今回の計画に与える影響はないか。
答 置かないのではなく、相応しい人がいないだけ。
問 病院のまちなか移転が医師確保につながるというが、その担保を伺う。
答 建設まで時間がある。それまでに対応する。
問 二事業に関する財源確保・総事業規模・将来負担の上限値設定等、いつ発表できるか伺う。
答 規模は、まだ決まっていない。いつ発表できるか分からない。
問 二事業は将来負担とリスクを伴うはず。それが分かる行政コスト計算書等の提出はできないか。

市民病院の建設に関するアンケート

(集計日: 25.1.30)

	病院が古くなったことについて				建て替えるとしたら			
	使えるなら使った方が良い	建て替えた方が良い	どちらでも良い	合計	現在の敷地内	まちなかが良い	回答なし等	合計
集計値	457	113	54	624	587	18	19	624

集計値624件の調査地内訳 (大津小学校区内: 452件・大津小学校区以外: 172 1/30以降も調査継続)

答 負担はその時々で変化する。いま計算しても1年後には狂ってしまう。政治の世界は計算していったら何もできない。総合判断は市長が行う。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

地域防災計画はどのように変わる？

市は積極的な雇用対策を



ふじもとよしお
藤本善男 議員
(二問一答)

問 島田市の雇用情勢はどのような状況か。

答 ハローワーク島田管内の有効求人倍率を国や県と比較すると、大変厳しい雇用状況だ。

問 企業誘致の現在の状況はどうか。

答 谷口工業用地への立地が決定し、大津工業用地にも1社から進出希望がある。

問 新たな工業用地の確保に向けた動きはあるか。

答 初倉中河地区および新東名インター付近の調査を進めていきたい。

問 既存企業の事業継続のため、緑地面積を緩和する考えはあるか。

答 今後、市の地形等を考慮し、検討したい。



稼働が停止している浜岡原子力発電所

問 現時点での安定ヨウ素剤の備蓄場所は。

答 備蓄場所は救護所12カ所、今後も変更予定はない。

問 島田市が重点区域を市内全域とするよう県に求めている理由は何か。

答 原子力災害対策指針では30キロ圏外への対策が折り込まれておらず、

防災、主に〈原子力災害〉を考える



くればやし みつぐ
紅林 貢 議員
(一問一答)

問 島田市の地域防災計画策定作業の進捗を伺う。

答 一般対策編、地震対策編の軽微な改定は25年3月、また大幅な改定は26年3月を予定している。原子力災害対策編の新規策定は25年3月を予定している。

問 緊急時防護措置準備区域（UPZ）における原子力災害が起きたときの避難判断基準は。

答 基本的には屋内退避となる。次に避難所への避難となると思う。

問 避難所の確保について、考えて、伺う。

答 広域的な避難について、協定済みの県外の自治体とあわせ、現在の災害協定の中に避難の受け入れが入っていない自治体とは、

協定の見直しを考えていきたい。

問 病院の入院患者や介護施設等への入所者の避難対策を伺う。

答 病院、福祉施設、学校等については、情報伝達、誘導体制の整備に一層努めていく。また独自の避難計画を整備する。

要望 避難計画の整備とともに、避難のための人員の確保についても協議をしてほしい、と要望。

問 安定ヨウ素剤の配布と服用方法を伺う。

答 第一次避難所で40歳以下の対象者に問診をして支障のない方に配布する。

問 島田市が行う小・中学生への放射線教育を伺う。

答 小学校高学年と、中学生を対象に授業を実施し、正しく怖がる態度を身に付けた子供の育成を目指す。来年度以降も島田市の教育財産として持ち続け、授業を展開していきたい。



基幹的広域防災拠点の候補地として選定された静岡空港西側予定地

問 島田市の地域防災計画策定作業の進捗を伺う。

答 一般対策編、地震対策編の軽微な改定は25年3月、また大幅な改定は26年3月を予定している。原子力災害対策編の新規策定は25年3月を予定している。

問 緊急時防護措置準備区域（UPZ）における原子力災害が起きたときの避難判断基準は。

答 基本的には屋内退避となる。次に避難所への避難となると思う。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

社会変化に対応した後期基本計画は



おおいせつお
大石節雄 議員
(二問一答)

問 後期基本計画策定に当たって、市民の意見、考えを聞く場はあるか。

答 自治会長連合会や島田市商工会、文化協会等、公益団体などから意見を聴取したい。最終的な素案は、パブリックコメントにより市民の意見を汲み上げていきたい。

問 重点プロジェクトの変更はないか。

答 東日本大震災を経験した上での行政課題や、国道1号4車線化など、金谷地区における基盤整備の進展については当初計画に含んでいない。これらの変化を踏まえ、重点プロジェクトの見直しについて検討を進めたい。

問 新東名インター効果について、金谷地域、川根地域への波及効果をどう考えるか。

答 平成26年度の開業を指す川根温泉滞在型宿泊施設は、島田金谷インターを中心とした大井川流域の観光振興や交流人口のさらなる拡大に大いに資するものと期待している。

問 財政運営について、社会状況によっていろいろな問題が生じる場合もある。健全に進めていくというところが確約できるか。

答 法律で定められている5つの指標を1つのチェック項目として捉えてやっていく。また、中長期的な観点から地方債の借り入れに対する将来的な負担については十分検討してやっていく。

問 川根地区の定住人口策の第2弾はあるか。

答 身成地区の旧保育園跡地に定住人口促進の住宅建設計画を立てている。

問 老朽化している市営住宅問題はどうか。

答 建て替え計画に基づき着実に進めていきたい。



市民の声を市政へ

ひとり暮らし 高齢者に支援を！



はしもと きよし
橋本 清 議員
(一問一答)

第6次島田市高齢者保健福祉計画・第5期島田市介護保険事業計画によれば、平成23年度の65歳以上の高齢者人口は2万5957人で高齢化率25.9%である。推計では平成26年度には27.8%となり、急速に高齢化が進展していく。要介護者等認定者も年々増加しており、3年間で556人の増加が見込まれている。また、現在65歳以上のひとり暮らしの世帯も3275世帯となつて

おり、高齢者が置かれている状況の変化に対応した適切な支援が必要と考える。

問 成年後見人として、市民後見人の育成が必要であると考えられるが、解は。

答 まずは、広く当制度についての理解を深めていただくことを考えており、福祉関係団体、救済機関等を対象に講演会を開催している。市民後見人の育成については、次の段階と考えている。

問 ひとり暮らし高齢者の緊急時の救急医療情報は、どう対応しているか。

答 緊急連絡先や主治医、服用の薬などの医療情報を記載する「もしものときの安心ノート」をひとり暮らし高齢者などへ配布しており、緊急時に備えて必要事項の記載と保



医療情報などが照会できる登録番号が印字されたネクタイ

管をお願いしている。

問 すぐ対応できる、例えば、いろいろな情報を書いたものをプラスチックのケースに入れて冷蔵庫の中に入れておく。また、登録情報番号が印字されたネクタイを常に身に着けて対応する考えは。

答 川根本町では救急医療情報キットで対応している。同じ消防本部管内であれば、同じ状況にしていくのが一番望ましいと考えるので検討したい。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

利用しやすい 安心の介護保険制度に



まつもと さとし
松本 敏議員
(一問一答)

問 第5期の島田市介護保険事業計画が平成24年4月からスタートしている。

答 介護保険制度の利用者の一時の大きな負担軽減のため、福祉用具購入と住宅改修に受領委任払い制度（最初に利用者が1割を支払い、後に事業者に9割を市が支払う）を導入すべきではないか。

答 福祉用具購入と住宅改修は、償還払いが原則。提案の受領委任払い制度は他市の状況を確認しながら検討したい。

問 介護保険特別会計に貯めこまれた基金残高は約8億円で、藤枝市等近隣自治体に比べ非常に多額だ。3年間でほとんどの額を給付に充当する考え方をしているか。残高の状況は給付に充当して

問 多目的産業展示施設（メッセ）の事業スタート以来、今までに旧金中跡地に投入した財源は年ごとに幾らとなるか。

答 平成21年度には約1億5800万円、平成22年度に



介護保険制度を担う長寿介護課

いないと見ざるを得ない。

答 積み立ててきた基金は、保険料を低く抑えるため、全額を給付に当てる計画を立てている。

多目的産業展示施設は白紙撤回を

問 多目的産業展示施設の誘致計画を白紙撤回し、土地の新たな活用に市民の意見を広く聞くべきだ。

答 平成20年の石川前知事との約束は重要だ。今後も実現を強く求める。

は約4680万円、平成23年度には4130万円支出した。

問 市の「多目的産業展示施設」誘致の要望に、静岡県当局はどのような姿勢を示しているか。

答 県の「理想のまちづくりを考える懇話会」の最終結果に期待している。

問 多目的産業展示施設の誘致計画を白紙撤回し、土地の新たな活用に市民の意見を広く聞くべきだ。

答 平成20年の石川前知事との約束は重要だ。今後も実現を強く求める。

浜岡原発は永久停止・ 廃炉にすべき



さくらい ようこ
桜井洋子 議員
(一問一答)



東海地震の想定震源域の真上に立つ浜岡原発

問 東海地震の想定震源域の真上に立つ浜岡原発は、世界一危険な原発だ。市長は、中部電力・国・県に対して浜岡原発の永久停止・廃炉を申し入れ、内外に表明すべきだ。

答 浜岡原発の永久停止・廃炉については、国のエネルギー政策の根幹に関わる重要事項だ。福島第1原発事故の検証を踏まえた上で、市の方針を示したい。

問 東日本大震災では、宮城県栗原市で約2900ガルを記録した。中部電力は「浜岡原発の原子炉は1000ガルの揺れでも大丈夫、配管は800ガルでも大丈夫」と宣言している。直下の地震では、原子炉そのものが重大事故を起こす危険

がある。浜岡原発は再稼働すべきではないと考えるが、市長の見解はどうか。

答 原発の電力並みの代替エネルギーが担保されれば、原発はない方がいいと思うが、原子力規制委員会の見解、福島第1原発事故の総括的な検証が必要だ。態度表明はそれからだ。

新病院のまちなか移転の是非を問え

問 新病院のまちなか移転に対する疑問や問題点を指摘する市民は多い。駐車場の確保、交通渋滞への対応、予想される事業費はどうか。

答 交通環境や駐車場確保、建設費の試算についても、建設地を選定した上で、新病院建設基本計画において示していく。

問 ジャスコ跡地への移転という結論ありきで進んでいる。市民に対して意向調査を実施し、移転の是非を問うべきだ。

答 移転の是非を問う意向調査は実施しない。

がある。浜岡原発は再稼働すべきではないと考えるが、市長の見解はどうか。

答 原発の電力並みの代替エネルギーが担保されれば、原発はない方がいいと思うが、原子力規制委員会の見解、福島第1原発事故の総括的な検証が必要だ。態度表明はそれからだ。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、2人の議員が5項目について質疑しました。以下、主な質疑の内容を掲載します。

【専決処分した事件の承認について】

会を開催すべきではなかったか。

★最終処分場の暫定の搬入路設置について

搬入路沿いの地権者、茶畑の耕作者、谷口自治会などに対し、どう説明責任を果たしたか。また、茶摘み時期など繁忙期に安全に通れるか。

田代環境プラザには、処理灰を1カ月しかため置きできず、日程に余裕がなかった。

【一般会計補正予算】★おび・りあを建設してのまちなかでの効果の調査について

1階部分にテナントとしてドラッグストアならびに生鮮食料品部門が入るとの説明だが、まだ入居できていない。これではビル建設による効果調査ができないのではないか。

ドラッグストアは辞退した。その後、ほかのスーパーマーケットから出店したいとの申し入れがあった。そこは生鮮食

料品も扱う。3月には開店したいとの希望があると聞いている。そうなれば調査は可能だ。

★初倉に設置する認定こども園の概要は

認定こども園の保育部門の定員と保育内容はどうか。また、待機児童は解消できるか。

保育部門の定員は17人である。0歳と2歳児の1日の過ごし方は、保育園と同じ。3歳児以上は幼稚園部門の園児たちと一緒に学級担任による4時間の教育が行われる。市内の待機児童は15人おり、保育部門が設置されることで待機児童解消の一助になることを期待している。

★川根小学校の建て替え計画はどうなっているか

委託料1300万円の増額理由は何か。平成25年度に計画していた基本設計を前倒しで行う。

指定管理者にしようとする団体は、これまで静鉄レストランも加わった共同事業体だった。今回はハラダ製茶(株)の単独である。これで、レストランや土産販売店を円滑に営業することができると期待している。

指定管理者にしようとする団体は、これまで静鉄レストランも加わった共同事業体だった。今回はハラダ製茶(株)の単独である。これで、レストランや土産販売店を円滑に営業することができると期待している。

どうか。

平成26年度に第1期工事、平成27年度に第2期工事を行い完成させる計画だ。

【指定管理者の指定(島田市お茶の郷)】★今回はハラダ製茶(株)が単独で指定することについて

指定管理者にしようとする団体は、これまで静鉄レストランも加わった共同事業体だった。今回はハラダ製茶(株)の単独である。これで、レストランや土産販売店を円滑に営業することができると期待している。

☆H24一般会計補正予算

今回は、国の法律改正の時期の関連で補正第4号と第6号に関連があるため、同時に審査を行った。

○総務費(一般会計)

特別職の項目が1040万5千円減額になっているのは何か。

副市長にかかわる4月から12月分の給料8カ月分と該当する部分の期末手当・共済費の分である。

問 財政調整基金の繰入金が減額になった理由は何か。

補正により予算の歳入に余剰が出ることから、財政調整基金の繰り入れを減額して、歳入と歳出を均衡させた。

総務消防常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。主な審査内容は次のとおりです。

☆島田市と焼津市との間の消防通信指令事務の委託の廃止について

当初は、通信指令事務を焼津市に委託することで経費が削減できるとなっていた。経費的な面はどうか。

焼津市に委託したときと同じような経費で、システムについても焼津市と同等のシステムで整備をしていく。

☆新病院建設地検討委員会の開催状況

委員会が挙げられた課題は何か。

現在地の現況について、どういう制約等があるか、まちなか移転による効果をどのように考えるか、移転に当たって病床規模をどう考えていくかという主に3つの観点での意見があった。

経済建設生活常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて承認・可決すべきものと決定しました。
主な審査内容は次のとおりです。

☆H24一般会計補正予算の専決処分した事件の承認

問 専決処分は、市長の権限という答弁があったが、環境課が考えて行動

したのか、上からの指導で、こういう結果になったのか。

答 あくまでも、市の方針を庁議などで決定し、市長をはじめ、部長たちも了解した中で進めている。



最終処分場に緊急設置した仮設搬入口

答 最終処分場が最初にできた時には、話がされたと思うが、今回

問 今回に至る前も、ごみ収集車が公道を通り、最終処分場の入り口から入ることに對して、地元には説明をしなかったのか。

答 最終処分場の地元自治会、耕作者や地権者の抗議を無視して、工事を強行した。最終処分場の賃貸借契約問題が解決していない。専決処

問 道路周辺の住民、畑を持つている方たちに説明を行い、了解を得られたとのことだが、全員了解という意味か。
答 耕作者と地権者を合わせて23名おり、いまだに反対の方は2名で、あとの方は、やむを得ないという方で、反対はしていない。

○採決に対する意見

賛成意見 市の説明で賛成されている方もいる。さらに、最終処分場の契約の件でも、受け入れをしても良いという地権者もおり、市としても十分説明をしている事項だと思う。

問 過疎債は、最終的には幾ら借り入れる予定なのか。
答 平成25年度は14億400万円、平成26年度は5億1700万円、合計で19億3100万円の借り入れを予定している。

問 財源的に問題はないか。
答 平成22年度に県と30年間の経営計画を協議している。さらに、過疎債を借り入れることについても協議が整っている。

○採決に対する意見

賛成意見 市がホテル経営することは、行政改革に反する。事業費の大幅な増額、収支計画によると、赤字経営であること。

問 過疎債は、過疎地域の防災対策や道路整備などに活用すべきであり反対する。
賛成意見 初期計画の8億円から21億6900万円への変更は大き過ぎるが、川根温泉の利用者数は、年間30万人を超え、市の財産として活かしていくためには、ホテル建設も必要である。リピーターを増やし有効活用をして、利益的にも上がっていく十分な体制ではないかと思う。また、新たな雇用の創出も期待できることから賛成する。



年間30万人を超える利用者がある川根温泉の源泉周辺

☆指定管理者の指定

○総合スポーツセンター

問 利用者数については、前の施設と比べてどういう状況か。

答 旧の体育館と温水プールの年間利用者数は約15万人で、総合スポーツセンターをオープンする時に、市で想定した人数は、約20万人であった。実際は平成23年度で30万人を超える利用者となっている。

民生病院教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。
主な審査内容は次のとおりです。

☆H24一般会計補正

予算

○認定こども園施設整備事業費補助金

問 認定こども園の債務負担の基礎となっている補助金の内訳は。

答 主体工事費、冷暖房工事費、浄化槽工事費、昇降機工事費が補助対象事業費で3億6200万円である。

補助金は、県が1億5770万5千円、市が7885万2千円である。

問 補助金を出した割に定員増になっていないが。

答 総定員数は変わらないが、定員割れの幼稚園を減らし、保育園を17人増やしている。

○金谷ボランテア

センター解体事業

問 解体により隣接する旧保健センターの外壁は

どうなるのか。

答 解体後に施設を新築する事業者が、外壁の補修工事を行うことになっている。

○川根小学校校舎

建設事業

問 今後改築を控えている学校がたくさんある。

答 耐震性、老朽化を考え、財源の計画を立ててほしいかどうか。

答 教育委員会で平成22年に策定された公立学校施設中長期改修計画に沿って進めたい。

○図書購入費

問 図書購入は、新図書館のものが。また、充足率はどうか。

答 市内の企業の寄付金を充て新図書館に購入する。本の充足率は現在60%だが、24年度から26年度まで3千万円の予算で、できる限り100%

に近づけていく。

☆H24介護保険事業

特別会計補正予算

○介護拠点緊急

整備事業

問 総事業費と入所者の見込みはどうか。

答 土地は借地で、総事業費は1億2500万円である。認知症の方のグループホームで定員は18人である。

☆市立学校条例の

一部改正

問 民営化に伴い五和幼稚園の名称を削除する条例

問 五和幼稚園の保育料は月額7500円だ。民営化すると1万8000円になる。差額の補てん額は幾らか。

答 差額は2年間、市が負担する。

問 施設を直す施設整備

補助金や運営費補助金など、民営化のための費用を投入した金額に対して、効果は何年後ぐらいに現れるのか。

答 人件費が削減され、年間4100万円の削減効果がある。(反対討論あり)

☆病院事業の設置等に

関する条例の一部改正

問 血液疾患とりウマチ疾患の診療にあたっていた医師の退職に伴い、診療科名を変更する条例

問 医師の退職に伴う診療体制の悪化が心配だ。新病院建設に向けて強固な体制づくりはできているのか。

答 建設に当たっては、病院の機能強化を図るため、災害時のトリアージスペースの確保、駐車場の確保などを第三者委員会の場で発言していく。

☆指定管理者の指定

野外活動センター山の家は「NPO法人いこいの広場」が、山村都市交流センターは「企業組合



校舎の建て替えが予定されている川根小学校

くれは」が、川根文化センターは「NPOまちづくり川根の会」が、それぞれ、プレゼンテーションと審査の結果、指定管理者に決定した。

ザッ 討 論

賛成
↕
反対
結果は表のとおり

【報告第14号】

○専決処分した事件の承認について

平成24年度一般会計 補正予算(第3号)

報告第14号に反対

最終処分場が使えるか否かは、市民生活および災害廃棄物受け入れの是非に係る重大な問題だ。仮設搬入口の設置を地元で説明せず進めたことは容認できない。臨時会で審議すべき件なのに専決処分したのは認められない。地方自治法179条の規定と言うが意思決定権は本来、議会に専属するべきものだ。緊急の場合でも性質として市長が議会に代わって行使すべきものではない。10月11日に入口が封鎖されたの

で、灰の保管量が1カ月で限界なので急いだと言う。しかし、専決処分が決定されたのは10月24日だ。その間13日あり臨時会を開催できたはずであり反対する。

報告第14号に賛成

地権者との土地賃貸借契約は長期の借用を前提とした内容である。契約は、継続しているとの解釈であり、この契約は固定資産税の見直しの際に契約するものである。暫定の仮設搬入口は、市道を使用するため地元には説明を行わなかったが、搬入開始前に通行する車両、安全走行、農作業に支障がないよう通行するなどについて、自治会長と市道周辺の耕作者や土地所有者のお宅に伺

報告第14号に反対

い、協力依頼の文書を持って説明を行った。専決処分をする前に臨時会を開催すべきという意識は十分にあつたが緊急であり、開催する時間がなかったことが想定できることからやむを得ない対応であり賛成する。

仮搬入路計画の専決補正において、地元への説明も行わずに進めた一般常識に反する横暴な経過をかんがみると、市民を無視している。東北災害支援を盾にした荒っぽい手法ととらえ、さらに市民に対し、一般ごみの最終処分ができないのではという不安を与えてしまった経過に対し、承認できない。法179条を適用した専決処分である

報告第14号に反対

谷口自治会長、耕作者、地権者一同の最終処分場迂回路についての抗議文に回答することもなく、説明もなく、理解を得ようとする努力もない。ただ公道だから使って何が悪いとの言い方で片付けてしまうような強行なやり方は、住民を思う気持ちが少ない。前回の抗議文の回答をして、地元自治会、耕作者、地権者に説明をし、了解を得てから工事に着手してください。などの抗議を無視して工事を強

が、緊急の名を借りた、上から目線の強引な手法であり、一般ごみを盾にする権力の濫用ととらえ、抗議の意を込めて承認しない。よって、反対する。

【議案第81号】

○平成24年度一般会計補正予算(第4号)

議案第81号に反対

行したことを認めることはできない。最終処分場の6人の地権者との賃貸借契約の期限についても解決が図られていない状況である。

議案第81号に賛成

5. 過疎地域は生活交通の確保、防災対策、道路整備などが喫緊の課題である。これらの事業にもっと過疎対策事業債を活用すべきではないか。

1. 行政改革の民間活力の活用に対すること。

2. 事業費が当初計画の8億円から20億3100万円と12億3100万円増の約2.5倍になったこと。

3. 過疎対策事業費が多める観光事業費が多過ぎること。初年度から赤字経営であること。

4. 80人の雇用が生まれるとはいえ、過去に観光政策で雇用の創出を図ってきた事業は成功した例は少ないことから、宿泊施設事業は、もっと慎重にすべき。

川根温泉宿泊施設建設事業は、当初の事業費と比較して大幅に事業費が増額となっているが、今日まで、川根地区における民間事業者からの大規模な投資もなく、公設公営方式による大井川流域圏の滞在型観光交流拠点施設を整備することは、当該地区を中心とする中山間地の振興と交流の促進に大きく寄与する政策である。1億5千万円以上の経済波及効果による地域産業への振興と、80人以上の新規雇用の促進、若者世代のUターンや定住化の促進につながる過疎地域自立促進特別措置法の目的にも十二分に合致した政策であると考え賛成する。

採決結果一覧 (27議案中、賛成・反対が分かれた3議案を掲載)

○=賛成、×=反対		島田市立学校設置条例の一部を改正する条例について	H24一般会計補正予算(第4号)	専決処分した事件の承認について (H24一般会計補正予算(第3号))
氏名	会派名			
◎会派名 新生=新生しまだ 維新=維新塾 清流=清流会 創造=創造島田 明政=明政会 公明=公明党島田市議団 共産=日本共産党島田市議団				
平松吉祝	新生	○	○	○
村田千鶴子	新生	○	○	○
曾根嘉明	新生	○	○	○
小澤嘉曜	新生	○	○	○
中野浩二	新生	○	○	○
坂下修	維新	×	×	○
杉村要星	維新	×	○	○
佐野義晴	維新	×	×	○
紅林貢	維新	×	○	○
福田正男	維新	×	×	○
星野哲也	清流	○	○	○
仲田裕子	清流	○	○	○
大石節雄	清流	○	○	○
清水唯史	創造	○	○	○
藤本善男	創造	○	○	○
八木伸雄	創造	○	○	○
原木忍	明政	×	×	×
河原崎聖	明政	×	×	○
富澤保宏	公明	○	○	○
橋本清	公明	○	○	○
松本敏	共産	×	○	×
桜井洋子	共産	×	○	×

※議長(溝下一夫)は、採決には加わりません。(並び順は、会派ごと、会派代表者を先頭に、代表者以外は議席順。敬称略)

【議案第88号】
○島田市立学校設置条例の一部を改正する条例について

議案第88号に反対

旧金谷町の時代から長年にわたり、地域の幼児教育を担ってきた市立五和幼稚園の民営化に反対する。市は行政改革の名の下に、コスト削減と称

して、公立の保育園や幼稚園の民営化を強引に進めてきた。公立は民間より人件費が高いというが、それが基準となり、教育の質を高めてきた。むしろ、公立と私立があり、お互いが切磋琢磨して幼児教育を発展させてきたといえる。保護者の願いに反して、常任委員が市立五和幼稚園の存続の陳情を否決したことは問題だ。16回にも及ぶ

議案第88号に賛成

市との説明会の中でも、保護者の理解は得られていない。
公立幼稚園の民営化は、市の行政改革大綱に基づく重要な施策である。五和幼稚園の民営化は、既に23年12月には移管先法人を決定し、移管に向けての円滑な取り組みが進められている。PTAの役員を加えた打ち

合わせや保護者会全体説明会も行ってきたことである。また、民営化後には、第三者評価委員会が設置されると聞いており、さらに、移管にかかわる諸問題を協議する場としての運営協議会が設置され、この組織には、教育委員会の職員も入るため、課題に対し適切に解決することができると考え賛成する。

議員定数に関する
特別委員会報告

議員定数23人から20人へ

市議会は、市内4団体(島田商工会議所・島田市商工会・島田市自治会長連合会・島田青年会議所)から提出された「議員定数に関する陳情書」を採択し、9月定例会において「議員定数に関する特別委員会」を設置し、5回の特別委員会を開催しました。

特別委員会では、「市民団体から出された定数削減の陳情は重く、近隣市と比較しても削減はやむを得ない。」「定数の削減によって議会本来の役割と機能が十分果たせるのか危惧される。」等の意見の中、適正な議員定数を導き出すための論点として、人口規模、市の財政状況、審議の充実、市政への監視機能の強化、市民意見の反映等の7項目に着目し議員定数についての審議を行いました。

議員定数については、理論的根拠や明確な基準が無いことを踏まえつつ、陳情の趣旨を真摯に受け止め、議会自らが率先して定数の削減を行う必要があること。また、議会は市民の多種多様な意見や要求に耳を傾けるとともに、それを吸収し、多面的な視点から議論をする場であり、自由闊達かつ十分な討議ができる人数を確保する必要があることなどの意見から、定数案21人、20人、18人の3案について採決を行いました。その結果、現在の議員定数23人を3人減員する20人が適正な定数であるとの結論付けを行い、12月18日の本会議で報告されました。

なお、議員定数を改正する条例は、2月定例会に提出される予定です。

平成24年11月定例会の概要

11月定例会は、平成24年11月22日から12月18日までの27日間の会期で開催されました。審議された議案は、補正予算の専決処分1件、補正予算案10件、条例案4件、一般議案9件、物損事故の和解等の報告3件、議会側からの提案3件です。

一般質問には

13人が登壇

2日間にわたり13人が一般質問を行いました。質問事項は防災関係と島田市民病院まちなか移転などが前回に引き続いて取り上げられました。そのほかでは、教育、農業、介護、雇用対策、総合計画など多岐にわたって質問が行われました。

専決処分した

事件の承認

一般会計補正予算第3号（処分場管理運営事業費・最終処分場搬入用仮設構台の設置）が報告され、委員会審査では、地元への説明不足等が指摘されました。委員会では可否同数のため委員長採決で可決。本会議では反対3人、賛成1人による

討論が行われ、採決の結果、賛成多数により可決されました。

一般会計補正予算

補正予算第4号は、当初予算編成後の人事異動に伴う人件費の調整が主なもので、そのほかには、認定こども園施設整備補助成や債務負担行為による川根温泉宿泊施設建設、川根温泉源泉運搬委託、指定管理委託費等が計上されました。

問題とされたのは、川根温泉宿泊施設建設で、事業費が8億円から20億3100万円と大幅に増額されたことなどでした。

本会議では、反対1人、賛成1人の討論が行われ、賛成多数で可決されました。

補正予算第5号は、衆議院議員選挙に係る経費、

補正予算第6号は、国民年金法等の一部改正により、共済組合負担金が平成24年4月1日にさかのぼって増額されたため、共済費の増額分が計上されました。第5号、第6号とも全員賛成により可決されました。

指定管理者の指定について

島田市総合スポーツセンターほか7施設について、各委員会が審査しました。

指定管理者の管理期間は、これまで3年間でしたが、今回の委託から5年間に変わりました。お茶の郷の指定管理者が2社ではなく、ハラダ製茶㈱に1社になったことについての質疑がありました。7施設とも全員賛成により可決されました。

○全員賛成で可決

- 平成24年度補正予算のうち
 - ・簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
 - ・休日急患診療事業特別会計補正予算（第1号）
 - ・介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
 - ・水道事業会計補正予算（第2号）
 - ・一般会計補正予算（第5号）
 - ・一般会計補正予算（第6号）
 - ・国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
 - ・介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
 - ・介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
- 島田市公共下水道の構造の基準等を定める条例について
- 島田市手数料条例の一部を改正する条例について
- 島田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について
- 指定管理者の指定について（島田市総合スポーツセンターほか）
- 指定管理者の指定について（島田市お茶の郷）
- 指定管理者の指定について（島田市野外活動センター）

議決結果一覧

- 指定管理者の指定について（島田市山村都市交流センター）
- 指定管理者の指定について（島田市川根文化センター）
- 市道路線の認定について
- 市道路線の廃止について
- 島田市と焼津市との間の消防通信指令事務の委託の廃止について
- 川根本町が島田市に委託する消防に関する事務の変更について
- 島田市議会委員会条例の一部を改正する条例について
- 島田市議会会議規則の一部を改正する規則について
- 議員派遣について

○賛成多数で承認・可決

- 平成24年度補正予算のうち
 - ・専決処分した事件の承認について（一般会計補正予算（第3号））
 - ・一般会計補正予算（第4号）
 - 島田市立学校設置条例の一部を改正する条例について
- その他**
- 専決処分の報告について（物損事故に係る和解）（3件）

議会報告会の開催報告

開催日：平成24年11月10日(土)・17日(土)

島田市議会主催の「市議会報告と市民との意見交換会」を市内5会場で行いました。

今回は、9月定例会での審議結果の報告と「市民病院建設」を主なテーマにして意見交換を行いました。

病院のまちなか移転に、なぜ賛成したか

会場：初倉公民館 参加者：31人

市議会報告に対する質問・意見

- 浜岡原発の30^{キロメートル}圏内に島田市が入るが、その対策は。
- 多目的産業展示施設建設の明確な理由は。

意見交換会での主な意見

*市民病院建設について

- 初倉や旧金中跡地などが、なぜ、候補地にならなかったか。まちなか移転になぜ、賛成(反対)したか。
- 6月議会の一般質問での市長の答弁は、市民をばかにしている。移転は、白紙撤回して、都市計画・総合計画等に基づいて一層充実した病院にしてほしい。
- 財政規模が出されていない。幾らかかってもいいのか。市民の意見は聞いたか。

*川根温泉宿泊施設について

- 21億円の建設を許したのか。チェックしているか。
- 8億円の計画が18億円になり、21億円になったのは、なぜか。

市民病院建設はどうなるのか

会場：金谷公民館 参加者：41人

市議会報告に対する質問・意見

- 一般会計補正予算で原案に○で修正案に×、あるいは原案に×で修正案に○とはどういうことか。また、原案に×の議員は市の案に反対の人と取って良いか。

- 議員は自分の考えをもっとはっきり出して欲しい。

意見交換会での主な意見

- 病院はどこでも郊外にあり、まちなかへ移転することはおかしい。その理由は何か。
- 検討委員会では、候補地2カ所のうちで1カ所に決めるのか。もう場所は決まっているのではないか。
- 市民病院は眼科など診療科が減っている。また、出産はどこですればよいのか。市民が安心して診てもらえる体制にしてほしい。
- 竹下や猪土居などの公民館の賃借料が急に決まった。長年無料だったのにどうして急に有料にするのか。
- 旧金谷庁舎はどうなるのか。壊すなら早く壊すべきだ。少人数での冷暖房はもったいないではないか。

病院建設・市民意見の反映を

会場：プラザおおり 参加者：19人

市議会報告に対する質問・意見

*大学誘致について

- 地域の市政報告会で市長から具体的な大学名が出されていたが、事実か。

意見交換会での主な意見

*市民病院建設について

- パブリックコメントだけでは十分に市民の意見を反映できない。もっと多くの報告会を開くべきではないか。
- 今の場所の液状化についてしっかりと調査をしていないのは問題だ。
- 病院が移っても中心市街地は活性化しないと思う。
- ジャスコ跡地の市税滞納分の不納欠損処分は市民感情として納得できない。

「市民病院建設」もっと話し合いを

会場：かなや会館 参加者：8人

市議会報告に対する質問・意見

- 24年度補正予算の中で、賛成、反対をいうのに「問題はあるけど賛成」というのがある。一部を反対するのであれば反対ではないのか。
- 都市計画のまちづくり構想で、住民への理解を求めながら基本構想を作るべきではないか

意見交換会での主な意見

*市民病院建設について

- 学識経験者にも、もっと意見を聞いて議論すべき。
- パブリックコメントを資料として出してほしい。
- いきなりまちなかに建ると言い出した。病院の規模や財政を考えてからではないのか。
- まず場所ありきはおかしい。なぜ市民病院の建て替えが必要なのか。
- 看護師や職員の働きやすい環境を作ることが大事。
- 人間対人間として、現場、地域住民に十分な説明を行ってほしい。

議員達よ！市のために働け！

会場：大津農村環境改善センター 参加者：47人

市議会報告に対する質問・意見

- 産学官連携プロジェクト推進事業に大学名も分からず進めるのは理解できない。
- 不納欠損処分の内容は、守秘義務があっても議会で説明がないのは理解できない。
- 横井グラウンドに生殖している外来植物の駆除だけでなく、ほかの場所やほかの植物についても駆除してほしい。

意見交換会での主な意見

- 市民の意見を聞くためのパブリックコメントに対する市の考え方が期待できない。
- 議会報告会へは、行政側の言い訳(答弁)を聞くために来るのではない。議員個人の考え方を聞きに来ているのだ。
- 榛原・藤枝・焼津・島田それぞれ専門性を持った病院として残してほしい。
- 議員は島田のことを考えて議会運営をしてもらいたい。

常任委員会の行政視察報告

総務消防常任委員会

税金等の納付環境の向上や
市民団体への支援を学ぶ

10月2日に収納チャンネルの拡大について埼玉県北本市を視察しました。税金等の収納体制の強化・納付環境の整備・事務の省力化を目指し、コンビニ・ATM・携帯電話、クレジットカード等でも納付ができるものです。鳥田市においても市民の納付環境の向上のため今後検討する価値のあるものと感じました。

翌3日は、1%支援制度について千葉県八千代市を視察しました。これは、市民が納税した税金のうち1%の額を市民が任意に選択した各種市民団体に活動資金として振り分け、団体の活動を資金面から支援する仕組みです。注視すべき点は、市民の意思により支援金が決められるところにあります。鳥田市においても市民参加の形を模索していくことも必要と感じました。

民生病院教育常任委員会

健全な児童・生徒
の育成を目指す取り組み

民生病院教育常任委員会は、11月6日から7日に兵庫県尼崎市と姫路市の視察を行いました。

尼崎市では、「尼崎市子どもの育ち支援条例」を設け、スクールソーシャルワーカー事業より、スクールソーシャルワーカーを配置する配置型と、学校からの要請で派遣する派遣型の両面で児童・生徒の問題に対処したり、福祉・教育・教員の問題や相談のための関係機関連携する「スーパーライズ」事業に取り組んでいます。姫路市では、小中一貫教育を、地域、地区に応じた形で設置し、小中学校を9年間のサイクルで、それぞれの先生と一緒にカリキュラムを作成しています。児童・生徒が一つの学校の中で一緒に過ごすことで、いじめや不登校の減少につながっているそうです。

経済建設生活常任委員会

交流人口の増加に向けた
取り組み

11月5日は、東アジア地域との交流・連携・情報発信などを戦略的に進めている熊本市を視察しました。熊本市の存在感を示し、東アジアから選ばれる都市となるため、観光・留学生・ビジネス・環境の4つを柱に事業を展開していました。特に、即効性の期待できる観光振興・コンベンション誘致・学術都市づくりについて優先的に取り組み、情報発信や受け入れ態勢の整備などに努めていました。

翌6日は、佐賀県鳥栖市の新鳥栖駅周辺整備事業を視察しました。鳥栖市は九州の陸上交通の要衝として、交通アクセスが良く、多くの企業が集積することから、新鳥栖駅周辺を区画整理したまちづくりは、可能性を秘めており、今後の鳥田市の参考となる研修となりました。

平成25年2月定例会の日程

平成25年第1回（2月）市議会定例会の日程は次のとおりです。本会議、常任委員会等の傍聴にお越しください。いずれも午前9時30分開会予定です。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 2月20日（水）本会議（議案上程：補正予算分） | 3月12日（火）本会議（一般質問：個人） |
| 2月21日（木）常任委員会 | 3月13日（水）本会議（議案質疑） |
| 2月28日（木）本会議（議案上程：当初予算分） | 3月14日（木）常任委員会 |
| 3月8日（金）本会議（一般質問：代表） | 3月15日（金）常任委員会（予備日） |
| 3月11日（月）本会議（一般質問：個人） | 3月27日（水）本会議（最終日） |

※なお、この予定は、変更されることがあります。

編集後記

早いもので平成24年第4回定例会が終了しました。今議会は、鳥田市が原子力災害対策重点区域となることから、防災対策について市当局の考えを質す議員が多くいました。

また、傍聴される市民の皆様も多数、議会へ足を運んでくださり感謝申し上げます。今回は、議会報告会でも掲載させていただきました。本年も、委員一同「議会だより」の充実に努めてまいりますのでよろしくお願いたします。



議会だより編集等に関する特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 橋本 嘉明 |
| 副委員長 | 曾根 伸雄 |
| 委員 | 八木 哲也 |
| | 星野 貢也 |
| | 紅林 忍 |
| | 原木 敏 |
| | 松本 敏 |

鳥田市議会事務局 ☎ 36-7204
Eメール：gikai@city.shimada.shizuoka.jp
ホームページ：
http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai_top.jsp